

第3回学校運営協議会 議事録

校名	府立和泉総合高等学校
校長名	松下 聡司

開催日時	令和 8年 1月 23日(金)14:00～16:00
開催場所	和泉総合高等学校 B棟2階 エンパワメントルーム
出席者(委員)	山内会長・上條副会長・加島委員・大野委員・磯崎委員
出席者(学校)	松下校長・南事務部長・徳増教頭・岡崎教頭・館首席・小谷内生徒支援部主事 中村進路支援部主事・河内教諭・上田教諭・谷上教諭・前川教諭
傍聴者	なし
協議資料	本校の近況報告等
備考	

議題等(次第順)

1. 開会の辞
2. 校長挨拶
令和7年度学校経営評価について
令和8年度学校経営計画について
3. 本校の近況報告等
 - ・進路状況について(進路支援部より)
 - ・生徒状況について(生徒支援部より)
 - ・教務関係について(教務部より)(資料のみ)
4. 全体協議・質疑応答

協議内容・承認事項等(意見の概要)

「令和7年度学校経営評価及び令和8年度学校経営計画について」

- ・高評価を維持・向上させる中で、個別対応の充実と業務縮減の両立が課題。
- ・学校改善のためにも、アンケート回答率の向上を図る必要がある。
- ・個別支援には人権に関わる課題も含まれるため、生徒自身が人権感覚を身につける教育活動をより充実させる必要がある。
- ・さまざまな指導・支援に際しては、「できていない点」よりも「めざす姿を応援する支援」が重要であり、特に変化しやすい中間層へのアプローチが今後の課題。

「進路状況について」

- ・進路指導が分かりやすい、相談しやすい等の評価向上は、教員が生徒一人ひとりを見てきた成果であり、3年間の積み重ねによるもの。
- ・進路は最終段階で揺らぐことも多く、実体験(インターンシップ、企業訪問等)を通じた理解が重要である。
- ・キャリア教育において、現地集合・現地解散の企業イベント参加などを通じ、「社会的スキル(調べる力、行動力)」が育成されている。
- ・通級指導については、インターン等の体験を通じた進路選択が行われており、実績が出ている。

「生徒状況について」

- ・ポジティブ行動支援(PBS)を意識し、小さな行動の達成(挨拶、片付け等)を積極的に認め、ほめる機会を増やすことが重要。
- ・「いずそうアワード」による表彰制度は一定の効果がある一方、外発的動機づけに依存しすぎない工夫が必要であり、「表彰」よりも日常的な賞賛や自己決定の機会が、生徒の主体性をより育むことになる。

「令和8年度に向けて」

- ・本校の魅力を効果的に発信できる方法を検討し、広報活動に注力する。
- ・キャリア教育を充実させるべく、進学・就職に関するバスツアーを企画・立案し、実施する。

次回の会議日程

日時	令和 8年 5月頃実施予定
会場	和泉総合高等学校 B棟2階 エンパワメントルーム